

## 室岡 康平さん（派遣期間：8月1日～8月9日）

私は今回の錦江町へのインターンで、鹿児島県錦江町は素晴らしいところだということがわかった。私の錦江町の滞在期間は他の3人に比べて9日間という短い時間だったが、一日一日の内容が充実していたため、想像以上の経験をする事ができた。

私の地元は愛媛県の内子町という自然豊かなところである。事前学習で錦江町のことを調べた際に「錦江町は自然が素晴らしい」ということがわかったので、錦江町を訪れる前の気持ちは「内子と似たようなところなのだろう」と考えていた。しかし、錦江町にしかない地域価値をいくつも見つけることができた。

第二の家族ができたということ。私の受け入れ家庭は福岡さんだった。福岡家は皆優しくった。初めて会ったときにお父さんもお母さんも「家にいる間は自分の家だと思って過ごしてね。」と言ってくださった。いいことも悪いこともまるで息子のように接してくださった。他にもうれしかったのは福岡家は和徳さんを含め、息子さん方も剣の道を志していたということ。実は私は今でも剣道をやっている。地元とは違う地域に来ているのに、ただ剣道というつながりだけで何か居心地がよかった。家では農作業が中心で朝から晩まで汗をかきながらお手伝いをした。私の実家にも田畑はあり、手伝いもしたが、今回のように本格的に作業をしたのは、初めてと言っていいくらい充実したものだ。他にも書きたいことはたくさんあるが、地域をより深く知るためにはホームステイがいいということ。そして、それからのつながりをもつことができるということ。これが錦江町インターンの良さであると思う。

今回のインターンでの意気込みに「錦江町のたくさんの素敵な人に会う」と書いたが、予想以上に多くの素敵な人たちに会うことができ、その中で多くの刺激を受けた。私にはとびぬけた才能はないので、今回のインターンで錦江町に成果を残せてないかもしれない。しかし、素敵な人たちに会える縁には恵まれていると思う。その一つ一つの出会いを大切に、今後の自分の進む道への糧にしたいと思う。

錦江町で過ごした日々は一生の思い出であり、私の将来の目標への貴重な通過点となった。山王さんも言っていたが、今回のインターンは錦江町との交流のきっかけの場である。しかし、私はきっかけでは終わらせたくない。

錦江町での思い出は正直この文章だけでは書ききれない。その分、私の周りの人たちに錦江町のことを広め、自らアンテナとなって錦江町に少しでも貢献したい。最後に、このインターンに関わった、錦江町役場、受け入れ家庭の福岡さんをはじめ、錦江町みなさまに感謝したい。ありがとうございました。また来ます。



受入家庭の福岡さん家族と仕事の合間に一枚



福岡さん家族と楽しい夕食のひとつ